

## 「水道」に関する 様々な疑問に お答えします！



「水道教室」講師  
かねまる みゆき  
業務課 金丸 美由紀

**Q** 蛇口から白い水が出るのですが…。

**A** 水道管の布設工事で断水した時などに、水道管の中に入った空気が、水とかけ回されて、たくさんの小さな泡になり、水道水を白い水にしてしまうことがあります！これは空気の混入によるもので、安全性については問題ありません。コップに入れてかき混ぜて、2～3分程度置いておくと、底から透明になっていきますよ！

**Q** 訪問業者が水質検査を行ったところ、水道水の色が変化。業者に「安全な水道水ではないので浄水器を購入したほうがいい」と言われたのですが…。

**A** 残留塩素濃度は水道法に基づき、適正に残るように管理されています。市では毎日水質検査を行い、安全でおいしい水を供給しています。これは次亜塩素酸ナトリウムに反応する試薬を入れて不安をあおる悪徳業者の手口です。注意しましょう！

**Q** 水道メーターの取り替えには、お金がかかるの？

**A** 水道の使用水量を正確に計量するために8年おきに取り替えなければならない「水道メーター」。取り替えは無料です。取り替え該当時期には、市が委託した水道事業者が事前に戸別訪問し、「検満量水器の取替のお知らせ」を配布します。また、取り替えを行う業者は「水道メーター取替業者証明書」を携行しています。

**Q** 漏水した場合、修理費用は誰が負担するの？

**A** 水道メーターより上流側（道路側）は市が負担します。水道メーターより下流側（建物側）はお客様の負担となります。

**Q** 納入通知書をなくした場合は？

**A** 市上下水道部に直接お越しいただくか、電話で再発行のご依頼をいただければ郵送します。

**Q** 口座振替の手続きはどうすればいいの？

**A** 預金通帳と口座届出印、納入通知書をお持ちのうえ、市上下水道部が市内金融機関の窓口へお申し込みください。

### わたしたちが使う 水道水の量

水道水は、飲み水だけに使われるわけではありません。  
お風呂、トイレ、炊事、洗濯、歯磨き、掃除、花壇の水まき、学校、工場、病院など、様々な用途に使われます。  
市民1人が1日当たりに使う水道水の量を計算すると、平均で約340リットル。500ミリリットルのペットボトルに換算すると、1人で1日680本使っていることになります。

### 水道施設の老朽化・ 耐震化対策

高度成長期に布設した水道管や水道施設は老朽化しており、今後計画的な更新が必要です。また、近年多発している自然災害への備えとして水道管の耐震化も急務となっています。  
一方、人口の減少や節水意識の高まりにより水道料金収入は年々減少傾向にあります。水道事業の経営は税金ではなく、お客様の水道料金でまかなわれています。  
安全・安心な水道を維持していくために、水道に対する皆さま

### 関心を深めてもらう ために

水道事業に対する知識の向上や関心を深めてもらうことを目的に、市内小学生を対象に、平成28年度から出前講座「水道教室」を開催しています。  
ペットボトルを使つたる過の実験や、実際に使われている水道管などを用いた説明が行われ、毎回、人気の講座となっています。  
このほか、一般向けの出前講座「水道教室」や、柳浄水場・柳



▶出前講座「水道教室」の様子  
(平成28年7月、上小原小学校)

んのご理解とご協力をお願いします。

## 定期的な水質検査を 行っています

安全・安心な水道水をお届けするために、市では、水道法に基づき水質検査を定期的に行っています。

水質検査とは、水道水が飲料水として適合するかどうかを数値化して判断するもので、51の水質基準項目が設けられています。

例えば残留塩素の濃度は、1リットル当たり0.1ppm以上保持することが義務付けられています。

## もしものための 給水体制

災害により給水が停止した場合、市は迅速な応急給水に努めることとしています。

市では、給水車2台、給水タンク(1トン)2個、6リットル用非常用飲料袋を常備しており、災害時の給水体制に備えています。

また、災害時には全国の水道事業者が連携して被災地支援に当たり、より早い給水復旧を目指して応急体制を築くこととしています。「平成28年熊本地震」でも、市は被災地での給水支援に当たりました。



▶「平成28年熊本地震」の被災地支援に当たった給水車

### 水源かん養保安林

水源かん養保安林とは、森林の保水能力を活用したもので、形の無い貯水池、いわば「緑の



▲イメージ図「水は循環する」

ダム」です。水をためる、水を浄化する、洪水を防ぐといった役目があります。  
市では、水源かん養保安林を保護し、地下水の水質保全の維持に努めています。

# 安全・安心な

# 水

# を守るために

市では、安全・安心な「水」を皆さんのもとへ日々お届けしていますが、さらにこの「水」を守るために、様々な取り組みを行っています。これからの市民の皆さんの生活や産業を支えていくことを基本に、将来にわたって信頼され、満足される水道の構築を目指していきます。

## 平成29年度 水道ポスターコンクール

6月1日から7日までの「第59回水道週間」に併せ、水道への理解と学習の機会を広げるために、市内小学校4年生以上を対象に、「平成29年度水道ポスターコンクール」を実施しました。たくさんのご応募をいただき、ありがとうございました。  
審査の結果、入賞作品として、各学年ごとに最優秀賞1点、優秀賞2点、入選4点ずつの計21点が選ばれました。  
入賞作品は6月22日(木)まで市分庁舎(上下水道部)1階の玄関エントランスで展示していますので、ぜひご覧ください。  
なお、最優秀賞作品は、全国コンクールとして位置付けられている「第59回水道週間懸賞募集」に出品される予定です。



▲最優秀賞作品  
▲平原 葉奈さんの作品  
(大始良小学校6年)



▲東帆華さんの作品  
(鹿屋小学校5年)



▲中塩屋 かすみさんの作品  
(寿小学校4年)